

提出書類（教員免除）チェックリスト

学籍番号		氏 名	
------	--	-----	--

下表で提出書類を確認し、「(本人) 確認欄」にチェック☑をしてください。

書類を表の順(1～3)に並べ、本紙を添えて提出してください。

※ 提出する業績については、奨学金貸与期間中のものに限りです。

※ 4「4月1日現在の在職証明書の写し等」は、4月13日(月)までに学生総合支援センターに
レターバックライトで郵送してください。

提出書類		確認事項	(本人) 確認欄	(大学) 確認欄
1	【教員免除用】 業績優秀者返 還免除申請書 〔様式1-B〕 (PC作成)	右上の日付（記入年月日）が記入されている。		
		課程欄の該当するものを■（黒塗り）にしている。		
		研究科名・専攻名を記入している。		
		「大学院における研究課題等」へ概要をしっかりと入力している。		
		『記入例』にならって「業績の種類」及び「資料番号」を漏れなく記入している。 例）「研究論文」…申請者姓名・論文名・雑誌名・発表年（発行年）など 「学会発表」…申請者姓名・題目・会議名・発表年・表彰・受賞など 「発明」…申請者姓名・出願番号・出願日あるいは登録日・特許番号など		
		両面印刷（3ページ以上にわたっていても問題ありません。また、印字等、見切れていないかよく確認してください。）		
2	業績を証明する書類 〔根拠資料〕	業績優秀者返還免除申請書〔様式1-B〕に記入の資料番号をそれぞれの資料の『右上』に記入している。		
		業績優秀者返還免除申請書〔様式1-B〕に記入の業績全ての根拠資料があり、発行（受理、発表）年月・本人氏名・タイトル等が分かるように蛍光ペン等でマーカーをつけている。		
		学位論文・研究論文を業績とする場合 受理（又は作成）された年が記載されており、「論文要旨」がついている。 （論文全体の写しではなく、概要は1ページ目のみ提出。）		
		学会等における発表を業績とする場合 学会の詳細等が記載された資料（本人が参加したことが分かるもの）を添付している。（学会案内等が手元にない場合はWEB等から検索の上、印刷してください。）		
		「研究又は教育に係る補助業務の実績」を業績とする場合 「勤務状況報告書」を作成していない場合、採用期間が記載されているTA・RA等の採用通知（委嘱状）を提出してください。		
		個々の書類毎にホチキス留めをしていない。 （ホチキスで留めている場合は、全て取った上で提出してください。）		
3	教員採用選考の合格通知書等の写し	「採用延期制度対象者」は、下記2点を提出 ①教員採用選考の合格通知書等の写し ②採用猶予等通知(各都道府県の教育委員会が発行する採用の猶予を認める通知)の写し		
4	4月1日現在の在職証明書の写し等	提出締切：2026年4月13日（月） 提出先：〒390-8621松本市旭3-1-1 信州大学学生総合支援センター ※レターバックライトで郵送（品名に「教員枠（在職証明書）」と記入） 提出されない場合、「教員枠」として返還免除（教員免除）の認定を受けることはできません ★証明者が教育委員会でなく学校長の場合、「在職証明書」のほかに教育委員会発行の「人事通知書」も提出してください。	—	
5	その他 （確認事項）	リレー口座へ加入している。（又は手続き予定である。）		
		2026年4月中旬に大学内選考が行われ、それを経て日本学生支援機構での選考があり、7月下旬に本人宛てに通知されます。選考結果が出るまでは全額または一部繰上返還を行わない。		
		奨学金情報登録内容（現住所等）に変更がある場合には、スカラネット・パーソナルから速やかに手続きが必要です。結果通知は本人届出住所への郵送となります。		
		機関保証の場合 免除の結果次第で保証料が返戻されることがあります。その場合には日本学生支援機構から通知があります。		

(参考) 提出書類について

教員採用選考試験の合格通知書の写し

■必要項目

- ①本人氏名 ②次のいずれか
- ・採用候補者名簿の登載期間
 - ・令和○年度の教員採用候補者選考試験に合格したこと
 - ・令和○年度の教員採用を内定すること
- ③発行元教育委員会の教育長名(教育長の氏名はなくてもよい)

機構 太郎 様

通 知 書

受 験 教 科	高等学校 数学
受 験 番 号	9999999
氏 名	機構 太郎

令和7年度〇〇県公立学校教員採用候補者選考の結果、あなたを〇〇県公立学校教員採用候補者名簿に登載することとしましたので通知します。

名簿登載期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
--------	--------------------

令和7年9月30日

〇〇県教育委員会教育長
文教 一郎

※必ずしも画像と同じフォーマットである必要はなく、必要項目がすべて確認できれば問題ありません。

※通知書に②採用候補者名簿の登載期間がない場合、登載期間が掲載されている実施要項等を提出してください。

※紛失した、WEB上での閲覧期間が過ぎた等の理由により正式な合格通知書が手元にない場合は、必要項目①②③が記載された文書(様式自由)の発行を教育委員会に依頼してください。当該文書をもって、合格通知書に代えることができます。

採用猶予等通知の写し(大学院修了まで採用延期制度の適用を受けている場合のみ提出)

■必要項目

- ①本人氏名 ②採用候補者名簿の登載延長期間
- ③発行者名(組織名、役職、個人名のいずれも可)

機構 太郎 様

通 知 書

受 験 教 科	高等学校 数学
受 験 番 号	9999999
氏 名	機構 太郎

令和6年度〇〇県公立学校教員採用候補者のうち、審査の結果、あなたの名簿登載期間を延長することとしましたので通知します。

名簿登載延長期間	令和6年4月1日～令和8年4月1日
----------	-------------------

令和5年9月30日

〇〇県教育委員会教育長
文教 一郎

※必ずしも画像と同じフォーマットである必要はなく、必要項目がすべて確認できれば問題ありません。

※紛失した、WEB上での閲覧期間が過ぎた等の理由により正式な採用猶予等通知が手元にない場合は、必要項目①②③が記載された文書(様式自由)の発行を教育委員会に依頼してください。当該文書をもって、採用猶予等通知に代えることができます。

在職証明書の写し

■必要項目

- ①本人氏名 ②生年月日 ③2026年4月1日現在、任期(雇用期限)の定めのない正規職員として在職していること
- ④発行者名(組織名、役職名、個人名のいずれか可)
- 「2026年4月1日現在、任期(雇用期限)の定めのない正規教員として在職していること」を文章、表、箇条書きなど、何らかの形で明記してください。**必要項目を満たす不在職証明書を提出できない場合は、免除認定されません。**

(公立学校の場合)

在 職 証 明 書

氏 名	機構 太郎
生 年 月 日	平成13年 4月 5日

上記の者は、令和8年4月1日時点において、〇〇県教育委員会に、任期の定めのない正規教員として在籍していることを証明します。

令和8年4月15日

〇〇県教育委員会

※必ずしも画像と同じフォーマットである必要はなく、必要項目がすべて確認できれば問題ありません。

※公立学校に入職する場合は、辞令など、在職している機関が発行する書類で、対象者が任期(雇用期限)の定めのない正規教員として在職していることを証明できるものがあれば、その写しを提出することも可能です。なお、辞令等の写しを提出する場合で、任期の記載がない場合は、任期の定めのない雇用とみなします。

(私立学校の場合)

在 職 証 明 書

氏 名	機構 太郎
生 年 月 日	平成13年 4月 5日

上記の者は、令和8年4月1日時点において、本校に、任期の定めのない正規教員として在職している(現状は学校以外の学習支援センター等で任期の定めのない職員として在職しているが、今後任期の定めのない正規教員として在職する予定の場合も含む)ことを証明します。

令和8年4月15日

学校法人△△学園 代表
代表 一郎